

中山台コミュニティ 2023 年度重点課題

中山台コミュニティは2023年度、以下の3つを新たな取組みとしてスタートしている。区域内的の自治会が連携しての取組みであり、当面の重点課題として定着・発展させていく。

① 【まちの安心・安全】

「防災委員会」の活動本格化

中山台コミュニティ地区防災計画を改訂、これに基づき7月23日第1回防災委員会を開催した。全自治会の自主防災組織、および自治会が解散した地域など、新たにコミュニティ活動に加わる3地域代表などが参加し、「防災対応・訓練は基本的に各自治会が対応、緊急時の連絡網作り」などを確認した。

第2回会議は10月22日に開催、今後の防災計画を具体的に作成する。宝塚市総合防災課、中山台コミュニティ災害対策委員会など参加予定。

② 【まちの活性化】

「まちづくり活性化委員会」(仮称)の立ち上げ

コープこうべ(中山台)が実施する「コープ祭り」(11月19日)に中山台コミュニティ、自治会などが連携する。今後、中山台地区の中心になるファミリーセンターを「人が楽しく集う場」「高齢者の居場所」へ中山台コミュニティ、自治会、コープこうべ、福祉施設などが協働、祭りや各種行事などの取組みを進めていく。「まちづくり活性化委員会」結成を目指す。

コロナ禍、各地区自治会が実施してきた夏、秋の祭りは中止されてきた。今年度は夏祭りは再開できなかったが、秋祭りは再開する。ラベニール(9月9日)、サンハイツ(10月28日)、五月台(10月29日)。

③ 【住民の健康を守る】

まちづくり協議会代表者交流会後、宝塚市健康推進課から「中山台地区は子宮頸がんの検診受信率が低い」との指摘を受けており、検診率向上を目指す。(胃がんなど他の検診受信率は宝塚市全体の平均より高い)。健康推進課の協力を得て、広報誌などでPRを強めていく。

◎まちづくりはタテ軸、ヨコ軸で

まちづくり協議会の中核になる自治会はタテ軸、コミュニティ活動部会(運営委員会)はヨコ軸の活動を担っている。中山台地区は自治会連合組織が分裂後、自治会長会議が中断した。その後、自治会連合体の会議に出席していないが、中山台コミュニティ常任評議会には各自治会長(常任評議員)が参加、情報交流などはおこなってきた。昨年来、自治会長会議を復活、「中山台地区の自治会連合体」のような機能を持ち、2023年度に入り、防災委員会を設置、連絡網作りから防災訓練体制の構築に取り組んでいる。

コロナ禍、各地域で自治会が中心におこなってきた祭りが中止になった。そこで、コープこうべが開催する「コープ祭り」に中山台コミュニティ、自治会が協力していくことで両者が合意した。今後、中山台地域の一大イベントとなる「祭り」開催を協働で取組んでいく方向で話し合っていく。これに中山台地区の事業者(店舗)、福祉団体などにも呼びかけ、地域全来のイベントにしていきたい。この活動を軌道に乗せていく中、ファミリーセンターを中心に、「まち全体の活性化」を目指していく。

ヨコ軸になる各活動部は環境緑化、福祉、健康スポーツ、生涯学習、子ども、災害対策活動部などが対応している。このうち、自治会との協働は福祉、子ども活動部(青少年市民会議)が多い、

【見守り会議】

中山台地区では福祉活動部が中心になり年3回、「コミュニティ見守り会議」を開催(2023年7月第30回)。メンバーは市役所(高齢福祉課)、社協、警察、民生・児童委員、花屋敷地域包括センター、福祉施設、コープこうべ、郵便局、銀行、NPO、コミュニティ役員、自治会長など。

【青少年育成市民会議】

子ども活動部に属する青少年育成市民会議は年3、4回開催。メンバーは幼稚園、小学校、中学校、高校の代表(校長・教頭)、PTA代表、自治会、老人クラブ、民生・児童員、保護司会、青少年補導委員、スポーツ推進委員、地域人権教育活動推進員など。今後、組織は異なるは宝塚市では初めてとなる小中一貫校設立に向けた話を進めていくことになる。